

特定外来生物への指定を検討している外来生物の概要

種名	原産地	評価理由
アフリカヒキガエル <i>(Bufo regularis)</i> 分類：無尾目ヒキガエル科	サハラ砂漠、カラハリ砂漠など極端に乾燥した地域を除くアフリカ大陸	アフリカ大陸に広く分布するヒキガエル類であり、分布域が熱帯に限定されているわけではないため、本種が我が国に侵入すれば野外に定着する可能性がある。旧ヒキガエル属 (<i>Bufo</i> 属) のカエル類は中大型の種が多く、共通して比較的乾燥に強く、食性の幅が広く、多産であり、皮膚に毒を持つという性質のためさまざまな環境に適応・定着する可能性が高く、捕食や在来ヒキガエル類との競合により生態系への重大な被害を及ぼすおそれがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・オオサンショウウオ属 (<i>Andrias</i> 属) のうちオオサンショウウオ (<i>Andrias japonicus</i>) 以外の種 ・オオサンショウウオ属に属する種とオオサンショウウオ属に属する他の種の交雑により生じた生物 分類：有尾目オオサンショウウオ科	「オオサンショウウオ属のうちオオサンショウウオ以外の種」については中国	チュウゴクオオサンショウウオは全国の複数箇所に定着しており、日本固有種かつ特別天然記念物であるオオサンショウウオとの間に交雑が生じることにより、オオサンショウウオの保全に影響を及ぼす。チュウゴクオオサンショウウオは、寿命が長く、一度定着し交雑が起きると排除が難しい。また、その子孫も繁殖能力を有するため、その遺伝的かく乱の影響は大きく、長期的に継続する。チュウゴクオオサンショウウオ及び交雑個体は、オオサンショウウオより活発かつ攻撃的であり、繁殖場所を独占し、オオサンショウウオを駆逐しているとされている。近年の研究によりチュウゴクオオサンショウウオはいくつかの種に分割されたこと、及び、オオサンショウウオ属の系統関係を鑑み、オオサンショウウオとの交雑による遺伝的かく乱の防止に向けては、オオサンショウウオ属のうちオオサンショウウオ以外の種及びオオサンショウウオ属に属する種とオオサンショウウオ属に属する他の種の交雑により生じた生物（その生物の子孫を含む。）に関して特定外来生物に指定するのが適当である。